

VMware NSX-T Data Center: Troubleshooting and Operations (VMware NSX-T Data Center: トラブルシューティングと運用)

コースについて

この 5 日間の実習トレーニング コースでは、VMware NSX-T™ Data Center 環境の運用とトラブルシューティングに必要な高度な知識、スキル、ツールについて学習します。ネットワークとセキュリティを構成するさまざまな要素のワークフローの概要と、NSX-T Data Center 環境の管理やトラブルシューティングを支援する運用ツールやトラブルシューティング ツールのいくつかについて紹介します。

さらに、さまざまなタイプの技術的問題が提示され、体系的なプロセスに沿って問題を特定、分析、解決していきます。

コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- NSX-T Data Center に用意されているネイティブ ツールを使用して NSX-T Data Center 環境に関する問題を特定し、トラブルシューティングを行う
- VMware vRealize® Log Insight™ と VMware vRealize® Network Insight™ を使用して NSX-T Data Center 環境に関する問題を特定し、トラブルシューティングを行う
- NSX-T Data Center インフラストラクチャのコンポーネントおよびコンポーネント間の通信について理解する
- NSX-T Data Center の管理、制御、データ プレーンに関する問題を特定、分析し、トラブルシューティングを行う
- NSX-T Data Center のインフラストラクチャの準備に関する問題を特定、分析し、トラブルシューティングを行う
- NSX-T Data Center の論理スイッチおよび論理ルーティングに関する問題を特定、分析し、トラブルシューティングを行う
- NSX-T Data Center の分散ファイアウォールやゲートウェイ ファイアウォールに関するネットワークセキュリティの問題を特定、分析し、トラブルシューティングを行う
- VPN と VMware NSX® Advanced Load Balancer™ に関する問題を特定、分析し、トラブルシューティングを行う
- NSX-T Data Center のデータパスに関するコンポーネントとパケット フローについて理解し、関連する問題のトラブルシューティングを行う

対象者

- システム管理者およびネットワーク管理者（上級）
- エンタープライズおよびデータセンター ネットワークでの実務経験のあるネットワークおよびセキュリティ プロフェッショナル

前提条件

このコースを受講するには、次のコースを修了している必要があります。

- [VMware NSX-T Data Center: Install, Configure, Manage \[V3.2\]](#) (VMware NSX-T Data Center : インストール、構成、管理 [V3.2])

また、次のテクノロジーについて理解しているか知識を有している必要があります。

- TCP/IP サービスとプロトコルについて詳細に理解していること
- 以下を含むコンピューター ネットワークとセキュリティに関する知識と実務経験：
 - スイッチとルーティングの技術 (L2 ~ L3)
 - ネットワークおよびアプリケーション デリバリティ サービス (L4 ~ L7)
 - ファイアウォール (L4 ~ L7)
 - VMware vSphere® 環境

「VMware Certified Professional – Network Virtualization」認定資格を取得していることが推奨されます。

受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [一社様向けオンサイト トレーニング](#)

使用製品

- VMware NSX-T Data Center 3.2

コースのモジュール

1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

2 NSX-T Data Center の運用とツール

- NSX-T Data Center 環境向けのネイティブ トラブルシューティング ツール(ダッシュボード、トレースフロー、ライブトラフィック分析、ポート ミラーリング)を理解し検証する
- NSX-T Data Center 環境の syslog、IPFIX、およびログ収集を構成する
- NSX-T Data Center と vRealize Log Insight および vRealize Network Insight を連携させる
- NSX-T Data Center 環境の構成に使用できる API メソッドを検証し確認する

3 NSX 管理クラスタのトラブルシューティング

- NSX 管理クラスタのアーキテクチャ、コンポーネント、通信チャンネル
- NSX 管理クラスタの構成に関するワークフローの特定
- NSX 管理クラスタの形成の検証とトラブルシューティング

4 インフラストラクチャの準備に関するトラブルシューティング

- データ プレーンのアーキテクチャ、コンポーネント、通信チャンネルを理解する
- VMware ESXi™ トランスポート ノードの準備に関する問題を理解し、トラブルシューティングを行う
- KVM トランスポート ノードの準備に関する問題を理解し、トラブルシューティングを行う
- VMware NSX® Edge™ トランスポート ノードの準備に関する問題を理解し、トラブルシューティングを行う

5 論理スイッチに関するトラブルシューティング

- 論理スイッチのアーキテクチャを理解する
- 論理スイッチの構成に関するモジュールとプロセスを挙げる
- トランスポート ノードでの N-VDS と VDS の重要性を理解する
- N-VDS から VDS への移行手順を理解する
- ワークロードのセグメントへの関連付けに関するアーキテクチャとワークフローを確認する
- 論理スイッチの一般的な問題を特定し、トラブルシューティングを行う

6 論理ルーティングに関するトラブルシューティング

- 論理ルーティングと NSX Edge ノードのアーキテクチャを確認する

- Tier-0 および Tier-1 ゲートウェイの構成に関するワークフローを理解する
- 高可用性モードについての理解と論理ルーティングの配置を理解する
- BGP と OSPF の両方を使用する場合に生じる一般的な論理ルーティングの問題を特定し、トラブルシューティングを行う

7 セキュリティに関するトラブルシューティング

- 分散ファイアウォールのアーキテクチャを確認する
- 分散ファイアウォールの構成に関するワークフローを理解する
- ゲートウェイ ファイアウォールのアーキテクチャを確認する
- ゲートウェイ ファイアウォールの構成に関するワークフローを理解する
- 分散ファイアウォールとゲートウェイ ファイアウォールの一般的な問題を特定し、トラブルシューティングを行う

8 NSX Advanced Load Balancer と VPN サービスのトラブルシューティング

- NSX Advanced Load Balancer のアーキテクチャとコンポーネントを確認する
- NSX Advanced Load Balancer で生じる一般的な問題を特定し、トラブルシューティングを行う
- IPsec および L2 VPN のアーキテクチャとコンポーネントを確認する
- IPsec および L2 VPN の一般的な問題の特定とトラブルシューティングを行う

9 データパスに関する解説

- NSX データパス(East-West および South-North)のパケットのパスを確認し、検証する
- データパスのさまざまなポイントでのパケット キャプチャを特定し、実行する
- NSX CLI とネイティブなハイパーバイザー コマンドを使用して、NSX データパスに関する構成を取得する

お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、japan-education@vmware.com までお問い合わせください。



VMware NSX-T Data Center: Troubleshooting and Operations 3-1-1 田町ステーションタワー N 18 階 www.vmware.com/jp

© 2022 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界標準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記の保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証(商品性に対する黙示保証および特定の目的に対する適合性の黙示保証を含みます)に代わるものではありません。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料(以下「ワークショップ資料」といいます)の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に限り、本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。